

平成27年度 当初予算を可決

＜合併10年＞

新市建設計画最終年度実施計画

平成27年度各会計予算額と採決結果

会計名		平成27年度予算額	平成26年度予算額	増減額	前年比	採決結果	
一般会計①		593億5,530万円	571億9,673万円	21億5,857万円	3.8%	賛成16、反対11	
特別会計	国民健康保険	150億 156万円	136億9,619万円	13億 537万円	9.5%	賛成17、反対10	
	事業勘定 直診勘定	1,113万円	9億2,431万円	△ 9億1,318万円	△ 98.8%		
	後期高齢者医療	11億6,568万円	10億7,756万円	8,812万円	8.2%	賛成27	
	介護保険	保険事業勘定	108億8,142万円	104億8,926万円	3億9,216万円	3.7%	賛成22、反対5
		サービス事業勘定	1億7,061万円	1億6,789万円	272万円	1.6%	
	簡易水道事業	11億7,457万円	14億4,785万円	△ 2億7,328万円	△ 18.9%	賛成22、反対5	
	下水道事業	35億9,579万円	35億3,360万円	6,219万円	1.8%	賛成27	
	農業集落排水事業	14億3,906万円	14億8,547万円	△ 4,641万円	△ 3.1%	賛成27	
	浄化槽事業	3億5,159万円	3億5,036万円	123万円	0.3%	賛成27	
	バス事業	1億1,989万円	1億 70万円	1,919万円	19.1%	賛成27	
米里財産区	1,337万円	1,137万円	200万円	17.6%	賛成27		
特別会計②	339億2,467万円	332億8,456万円	6億4,011万円	1.9%	-		
企業会計	病院事業	収益的支出	53億5,196万円	-	53億5,196万円	皆増	賛成27
		資本的支出	6億2,777万円	-	6億2,777万円	皆増	
	水道事業	収益的支出	25億 853万円	20億9,915万円	4億 938万円	19.5%	賛成22、反対5
		資本的支出	19億1,068万円	16億7,016万円	2億4,052万円	14.4%	
	国民宿舎等事業	収益的支出	2億7,236万円	2億4,446万円	2,790万円	11.4%	賛成27
		資本的支出	2,945万円	0	2,945万円	皆増	
企業会計③	107億 75万円	40億1,377万円	66億8,698万円	166.6%	-		
総計 (①+②+③)	1,039億8,072万円	944億9,506万円	94億8,566万円	10.0%	-		

※1 一般会計の平成26年度当初予算は骨格予算のため、6月補正後の予算額と比較

※2 病院事業の前年比の皆増は、本年4月から総合水沢病院・まごころ病院・前沢診療所・衣川診療所及び衣川歯科診療所の事業の統合に伴うもの

予算修正動議賛成少数で否決

予算審査特別委員会最終日の審査結果取りまとめの採決において、一般会計当初予算案に対して修正動議が提出されました。

修正の内容は、胆沢統合中学校の造成工事で見つかった産業廃棄物の処理費用が当初予算に計上されていたことから、「検証結果がまだ出されておらず、再発防止策の内容もわからない。また、処理費用の根拠も不明確である」として、この処理費用約8600万円を当初予算から減額するものです。

討論に続き起立採決の結果、修正案は賛成少数

で否決されました。

＜修正案に対する討論＞

反対 市長は、二度と起こさない対応策を年度内に示すとしている。また、子どもたちの安心安全のために廃棄物処理をするものであり、予算は当局がしっかりと吟味し提案されたものである。

賛成 市当局は、今回の事態をきちんと弁明しなければならない。その弁明が市民に示されないまま議決をすることは、議会の責任放棄となる。けじめを付けるためにも、議案を一度撤回し工期にどう間に合わせるかを真剣に考えるべきだ。

一般会計予算に対する討論

反対 胆沢区統合中学校廃棄物処理問題について、市長は不信の除去に努力することが大切だ。ここに使われる市民の税金について、市民や議会に納得できる説明が必要である。

賛成 人口減少を打破するためには、安心安全で豊かな生活環境を作ることと、地域産業が安定的に発展しなければならない。多くの課題を解決し、これらを進めるための予算であり、活力ある奥州市の実現を確信している。

反対 新市建設計画実現のための事業費は確実に盛り込む一方、学校修繕費は要望額のみならず14・4%にすぎない。企業立地奨励工業用水補給金についても、財政難と言われながらも、これまでと同様に予算に含まれている。

賛成 一般会計予算総額は、前年対比3・8%増の積極的な予算編成で、市長の意欲が表れている。しかし、胆沢区統合中学校廃棄物処理問題は重く受け止め、まず市民の信頼を得るために、全力を尽くさなければならない。

反対 胆沢区統合中学校廃棄物処理に関わっては、一度立ち止まり、経過、原因、責任の所在、再発防止等を明確にした後に改めて進めるべきだ。議案を通しその後には検証をすればいいという考えからは脱却すべきである。